

ライバルが書いている記事がま
とめてわかるツールと「ネタ選定
のツール」の作り方！

【推奨環境】

このレポート上に書かれている URL はクリックできます。

できない場合は最新の AdobeReader をダウンロードしてください。

(無料) <https://get.adobe.com/jp/reader/>

◆著作権について

当レポートは、著作権法で保護されている著作物です。使用に関しましては、以下の点にご注意ください。

◇レポートの著作権は、作者にあります。作者の書面による事前許可なく、本レポートの一部、または全部をインターネット上に公開すること、およびオークションサイトなどで転売することを禁じます。

◇本レポートの一部、または全部をあらゆるデータ蓄積手段(印刷物、電子ファイル、ビデオ、DVD、およびその他電子メディアなど)により複製、流用および転載することを禁じます。

◆使用許諾契約書

本契約は、レポートダウンロードした法人・個人(以下、甲とする)と作者(以下、乙とする)との間で合意した契約です。本レポートを甲が受けとることで、甲はこの契約は成立します。

第 1 条(目的)本契約は、本レポートに含まれる情報を、本契約に基づき、甲が非独占的に使用する権利を承諾するものです。

第 2 条(第三者への公開の禁止)本レポートに含まれる情報は、著作権法によって保護されています。また、本レポートの内容は、秘匿性の高い内容であり、甲はその情報を乙との書面による事前許可を得ずにいかなる第三者にも公開することを禁じます。

第 3 条(損害賠償)甲が本契約の第 2 条の規定に違反した場合、本契約の解除に関わらず、甲は乙に対し、違約金として、違反件数と金壱万円を乗じた価格の 10 倍の金額を支払うものとします。

第 4 条(その他) 当レポートに沿って実行、期待通りの効果を得ることができず、万一如何なる損益が生じた場合でも、乙は甲に対して責任を負わないものとする。

もくじ

ライバルが書いている記事がまとめてわかるツールと 「ネタ選定のツール」の作り方。	5
IFTTT と LINE Notify は使い方無限大！	37

ここでは

「ライバルが書いている記事がまとめてわかるツール」

と、それを応用して組み合わせて

「ネタ選定のツール」を作っていきます。

かなり応用が利くツールなので、ぜひ有効活用してくださいね！

ライバルが書いている記事がまとめてわかるツールと「ネタ選定のツール」の作り方。

僕が使っているのが、**IFTTT** と **LINE Notify** というツールです。

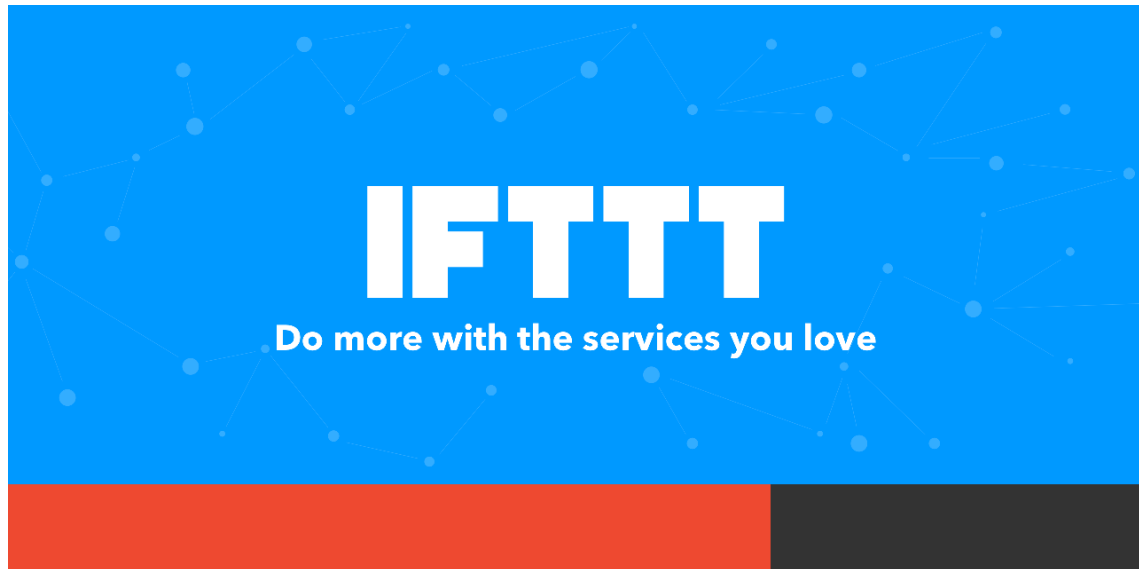
■ LINE Notify とは Web サービスからの通知を、LINE で受信することが出来る便利なサービスです。



プログラムを**実行した結果**をラインで受け取る時などに使います。

■ 一方 IFTTT とは、凄くざっくり言うと複数のプログラムを組み合わせることができるシステムです。

プログラムとプログラムのつなぎ役ですね！



例えば A、B という二つのプログラムがあったとします。

それを、IFTTT を使って組み合わせることで、

「A というプログラムを作動したら、B というプログラムが実行される」

ということが出来ます。

この二つを組み合わせて、**ライバルが特定の KW を含む記事を書いたら、自動でラインに通知が来るようにプログラムを組んでいます。**

こんな感じでラインに通知がきます。



リンクを押すとそのブログへ飛べるので結構便利です。

■ それでは早速設定をしていきましょう。

この設定を行うには IFTTT のアカウントが必要なので作って行きます。


■まずは下の URL から IFTTT の公式ページへ

⇒[IFTTT の公式ページ](#)

■次にアカウント作成作業をしていきます。

まずはメールアドレスを入れましょう！



Every thing works
better together



Enter your email

Get started

or

 Continue with Google  Continue with Facebook

■ 次にパスワードを入力してください。

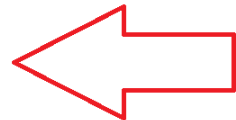
Set your password

At least 6 characters

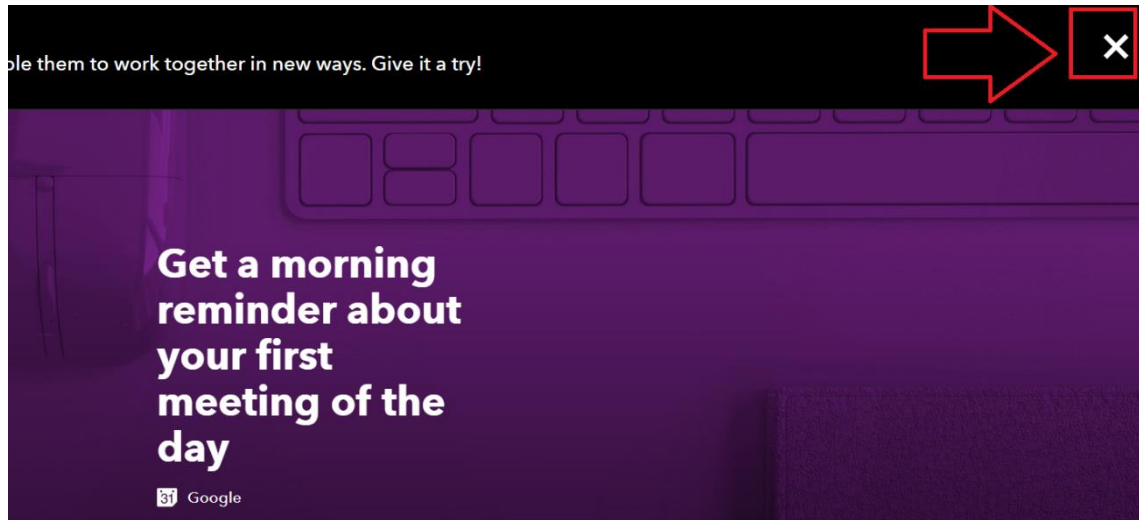
Get updates for products available on IFTTT

Sign up

[Continue with Google or Facebook](#)



■ 右上の×ボタンをクリック



■ これでアカウントが作成できました。

Start connecting your world.



■ それでは次に具体的なプログラムを組んでいきます。

その前に改めて IFTTT についておさらいすると・・・
IFTTT は二つのプログラムを繋げるサービスでしたね。

その中で

「**A というプログラムをトリガーにして、B というプログラムを作動する**」という仕組みをつくります。

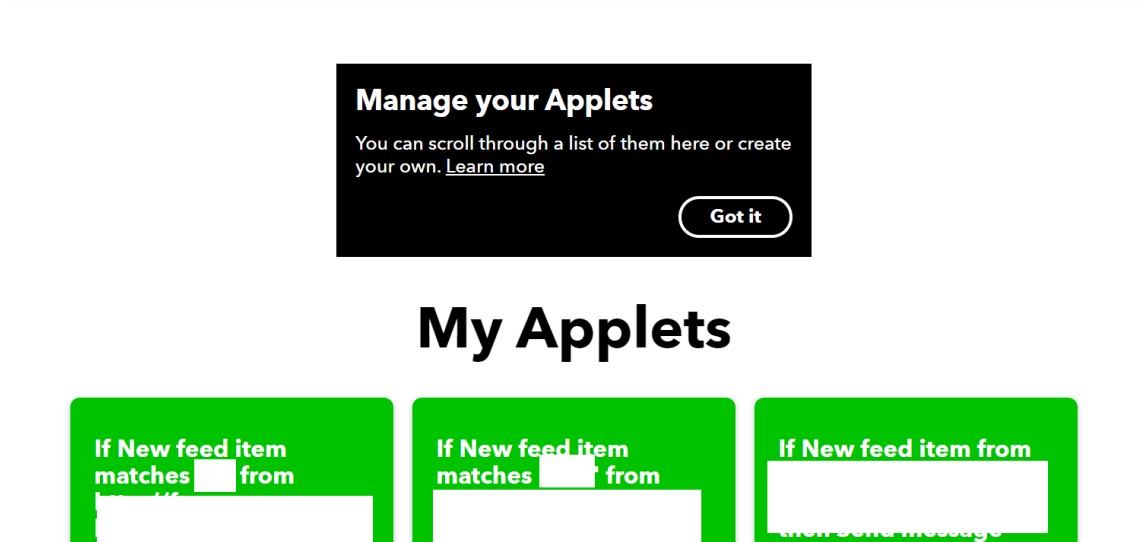
これをここでは「**Applet**」と言います。

(厳密にいうとプログラミングなどの Applet とは意味が異なってきますが、ここでは簡略化のため「Applet」とします。)

IFTTT では

自分の Applet をつくり保存しておくことで、それが「My Applet」というものになります。

ちなみにこんな感じです。



■基本的に各命令（Applet）は「**If A then That B**」という形になっています。

これは

「もし A なら（A が起きれば） B というプログラムを実行する」という形です。

それでは実際のこの IFTTT を使って次のプログラムを組みます。

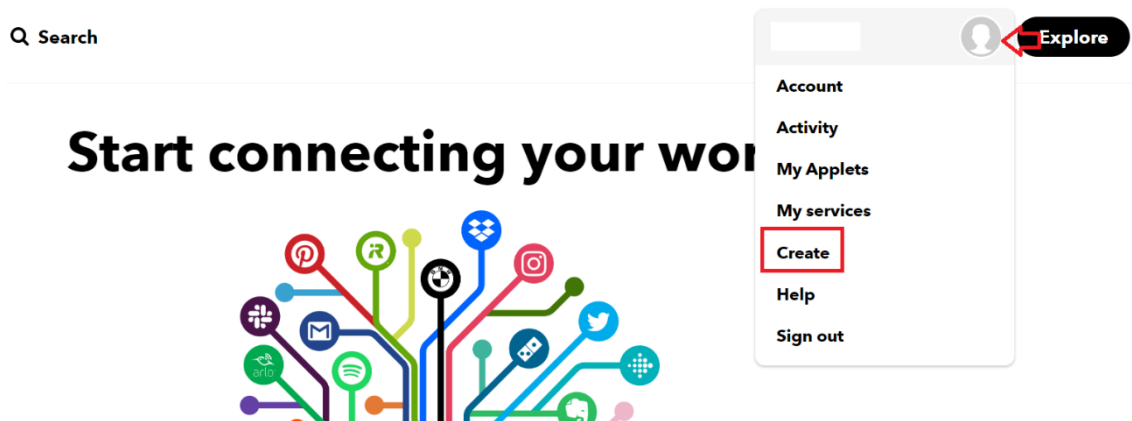
「予め指定したライバルが、特定の KW をタイトルに含む記事を書いた時（検索エンジンにインデックスされた時）にラインに通知が来る」

（かなりずるいので、コンサル生に対しては使わないようにしましょう（笑））

■ それでは作って行きます。

ホーム右上の顔のアイコンをクリックし、

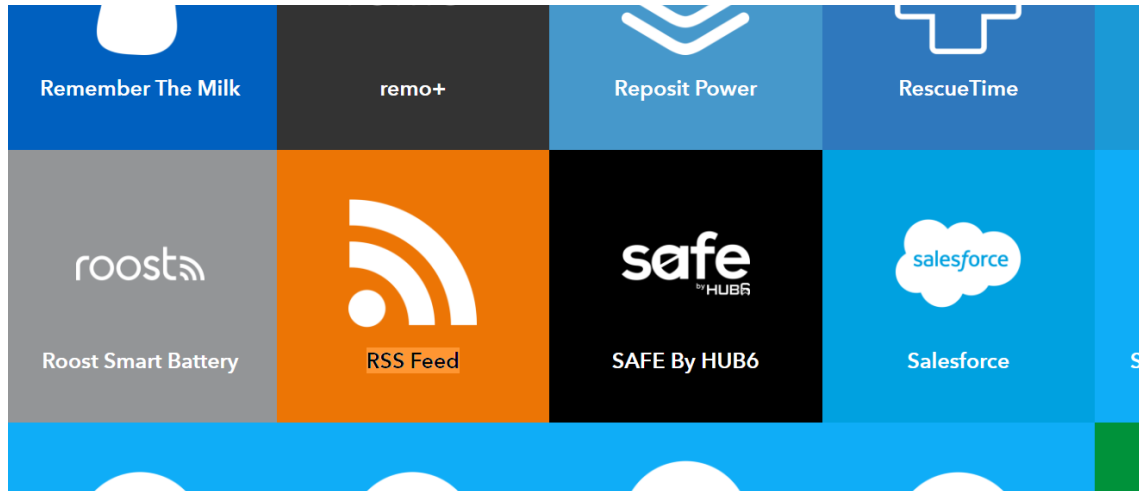
出てきた一覧から「Create」をクリックします。



■ ここから

「もし A なら (A が起きれば) B というプログラムを実行する」の A (トリガー) を設定します。

一覧から「RSS FEED」をクリック。



かなり指定できるプログラムが並んでいますね。これだけでもアイデア次第でなんでも具現化できることがわかるとおもいます。

■ Connect をクリック



Connect RSS Feed

Step 1 of 6

The RSS Feed service lets you turn on and make Applets for RSS and Atom web feeds. When the content you care about goes live, stay up-to-date with notifications, emails, and more.



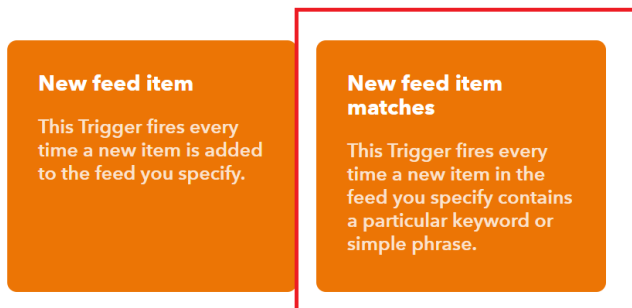
■ 「New feed item matches」を選択

[< Back](#)



Choose trigger

Step 2 of 6



■ KW とライバルのブログの Feed を入れて行きます。

complete trigger rules

Step 2 of 6

Keyword or simple phrase

動画 ←

Search operators are not supported

Feed URL

ライバルのブログのFeed

for feed URL requirements, [visit the help page](#)

Create trigger

ちなみに Feed はブログの更新情報ページと考えて貰って大丈夫です。

これを Feed リーダーなどに登録しておく、更新情報をいち早く受け取れるものです。

Feed は、ブログの中から「Feed」というのを探るか、多くのブログの feed の URL は「**URL/feed**」になっていることが多いので、試しに「URL/feed」と打ち込んでみるのもアリです！

■ KW と Feed を指定したら「Create Trigger」をクリック。

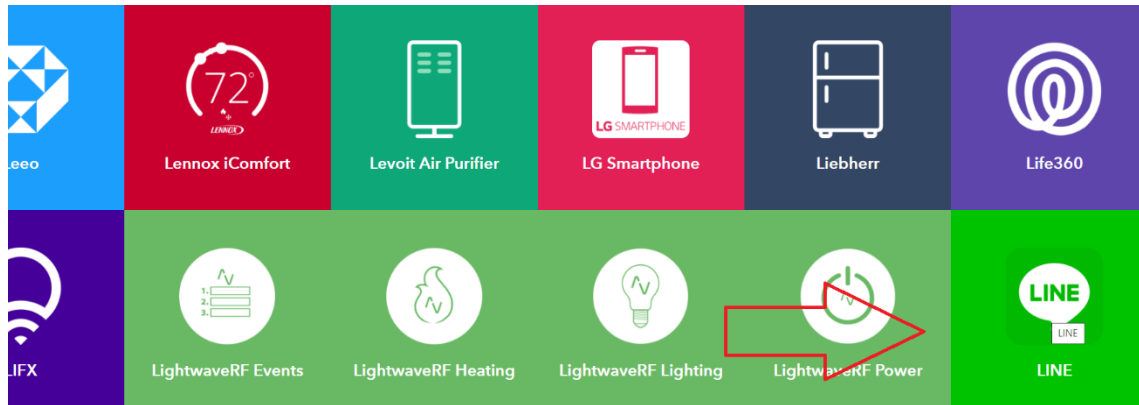
■ 次に「もし A なら（A が起きれば） B というプログラムを実行する」の B を設定します。

図の赤枠をクリック。

< Back

If  Then  That

■ 一覧から「LINE」をクリック。



■ 「Connect」をクリック。



Connect LINE

Step 3 of 6

LINE is a global messaging app used in over 230 countries and regions. LINE offers fun and free voice, video, and chat communication across multiple platforms. Receive event notifications from LINE Notify official account.



Connect

- 自分が普段使っている LINE のアカウントでログインします。



■ 同意して連携をクリック。



IFTTT

IFTTT, Inc.

IFTTTの提供者にプロフィールの名前とトークルームリストを提供します。LINE Notifyのマイページより連携を解除することが可能です。

同意するとLINEの公式アカウント"LINE Notify"が友だちに追加されます。

キャンセル

同意して連携する

■「Done」をクリック。これで PC 側の設定は OK です。

■ 次にスマホの方を設定していきます。

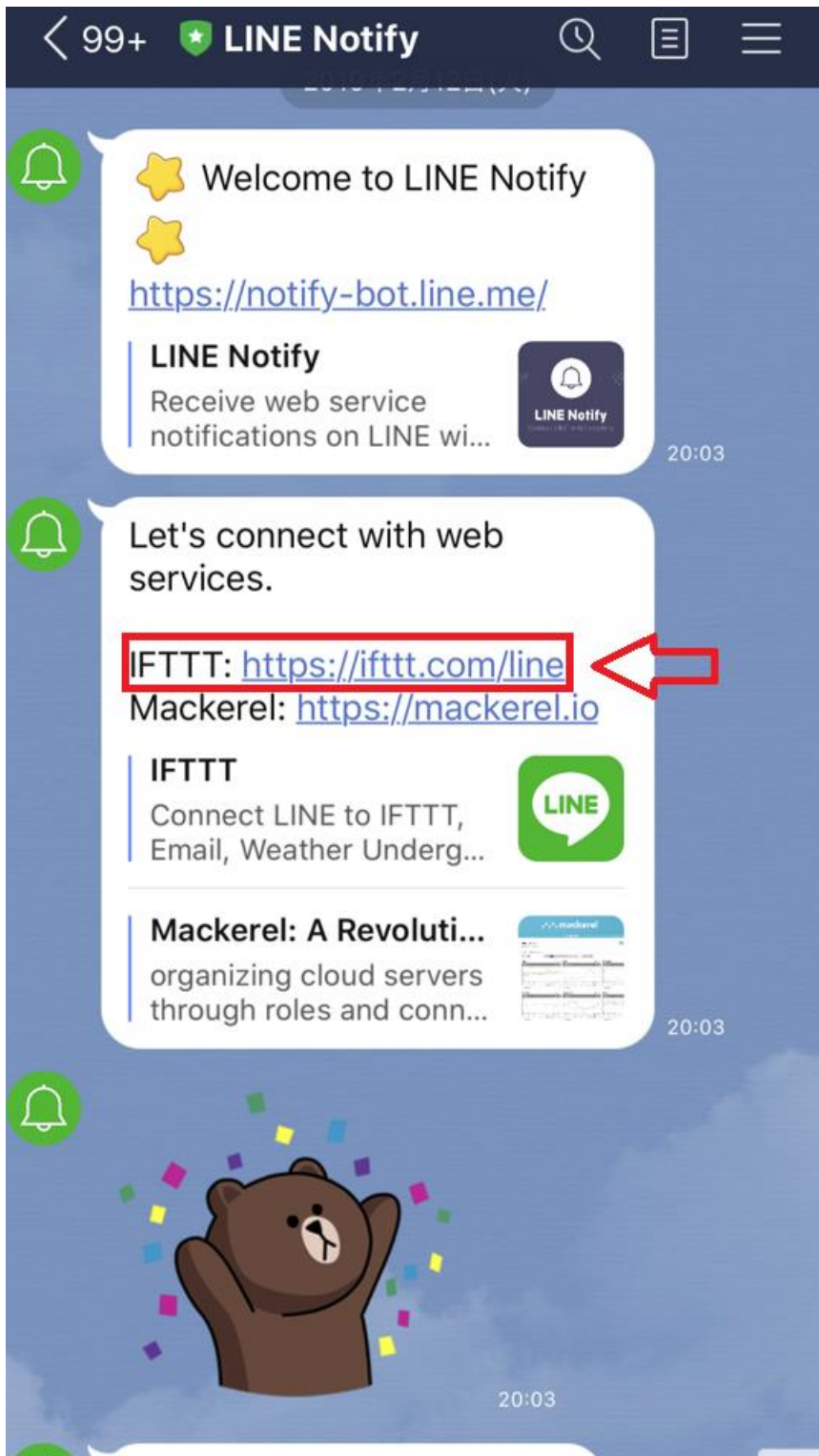


LINE
connected!

Done

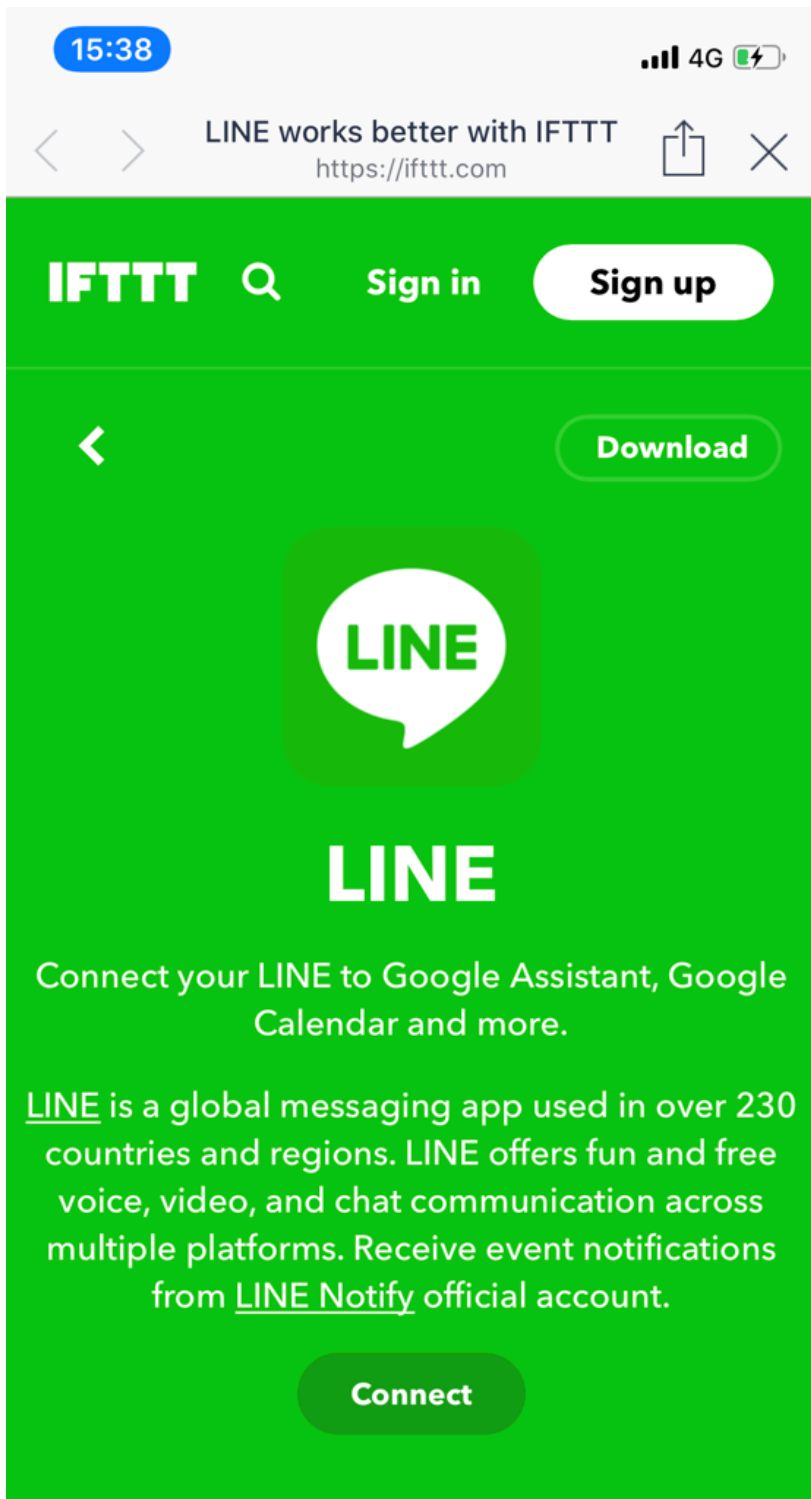
■ 今度はライン側に「LINE Notify」からメッセージが来るので、それを友達追加してください。

■ するとこんなメッセージが送られてくるので、ifttt のリンクをクリック。



僕の場合以前設定しているのですすでに連携されていますが、

初めての方はこんな画面が出ると思うので
「Connect」をクリック。



■次に LINE Notify のページに移るので、「同意して連携」をクリック。

■するとこんなメッセージが来るとおもいます。



■次に通知を受け取るためのグループをラインで作ります。



■グループ作成をクリック。



■ 友達の中から「LINE Notify」を選択して次へをクリック。



■ 後は分かりやすい名前を付けて「作成」を押せば完了です。



■あとはこんな感じで通知を受け取れます！



■ ※人によってはラインと IFTTT を連携する時に以下のようにもう一度設定がある場合もあります。

ラインを指定した画面です。



Complete action fields

Step 5 of 6

The screenshot shows a configuration screen for a LINE action. It has a green background. At the top, there is a section titled "Recipient" with a white dropdown menu showing "1:1でLINE Notifyから通知" and a downward arrow. Below this is the text "Message destination". Underneath is a section titled "Message" with a white text area containing the following fields: "EntryTitle
", "EntryUrl
", and "EntryContent
". There are also some partially visible fields below, including "EntryTitle" and "EntryUrl".



もしこのような画面が出てきたら、先ほど作ったラインのグループを「Recipient」から選んで、「Create action」をクリックしてください。

難しいという方、ちょっとわからないという方は遠慮せず聞いてくださいね！

IFTTT と LINE Notify は使い方無限大！

■この IFTTT は Feed の部分をグーグルアラートにしても良いですし、

Twitter をトリガーにすることもできるので、**工夫次第でオリジナルツールを作ることができますよ！**

ぜひ活用してください♪

その他 IFTTT で「こういった使い方してみたいけど、どうやって設定すれば・・・」

という方はぜひ僕に遠慮せずに相談してください。

一緒に新しいシステムを組んでいきましょう！